



KITOKU SHINRYO

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

2015年12月期第2四半期

決算説明資料

 木徳神糧株式会社
2015年8月28日



KITOKU SHINRYO

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

2015年12月期第2四半期 連結業績の概況



減収・増益

単位：百万円

	前第2四半期 (2014年1月～6月)	当第2四半期 (2015年1月～6月)	増減額	前年同期比
売上高	53,948	51,082	▲2,866	94.7%
売上総利益	3,457	3,703	+246	107.1%
売上比	6.4%	7.2%		
販売管理費	2,926	2,923	▲3	99.9%
売上比	5.4%	5.7%		
営業利益	530	779	+249	147.0%
売上比	1.0%	1.5%		
経常利益	549	797	+248	145.2%
売上比	1.0%	1.6%		
特別損益	▲69	▲13	+56	-
売上比	-	-		
第2四半期純利益	245	522	+277	213.1%
売上比	0.5%	1.0%		



決算ハイライト (B/S)

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

	前年度末 (2014年12月31日)	当第2四半期末 (2015年6月30日)	増減額
総資産 (百万円)	28,102	22,517	▲5,585
純資産 (百万円)	6,758	7,406	+648
自己資本比率 (%)	23.6	32.3	+8.7
1株当たり 純資産 (円)	780.58	856.38	+75.80

注:1. 自己資本(参考):2014年12月末 6,620百万円、2015年6月末 7,263百万円。

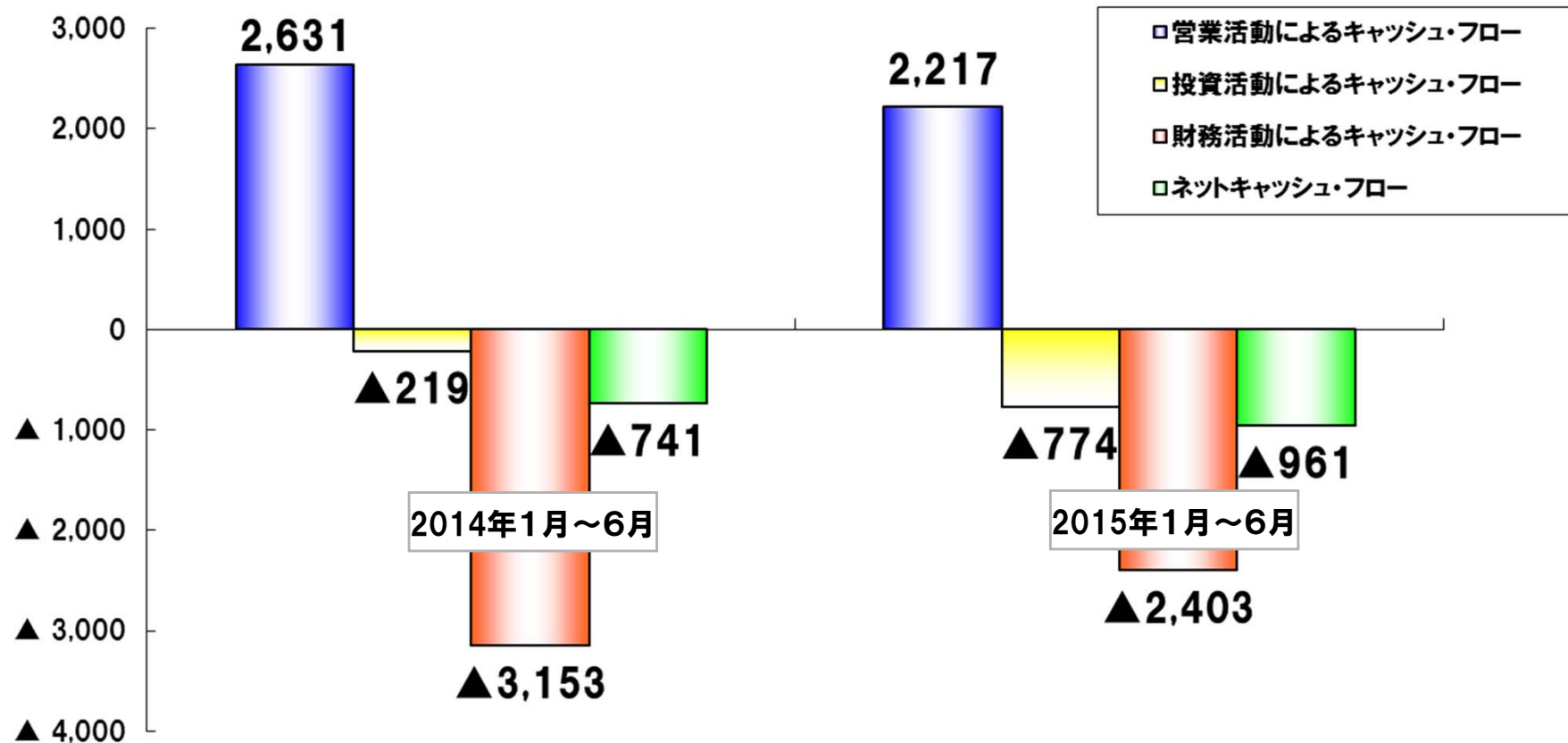


決算ハイライト (C/F)

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：百万円

	前第2四半期 (2014年1月～6月)	当第2四半期 (2015年1月～6月)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,631	2,217	▲414
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲219	▲774	▲555
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,153	▲2,403	+750



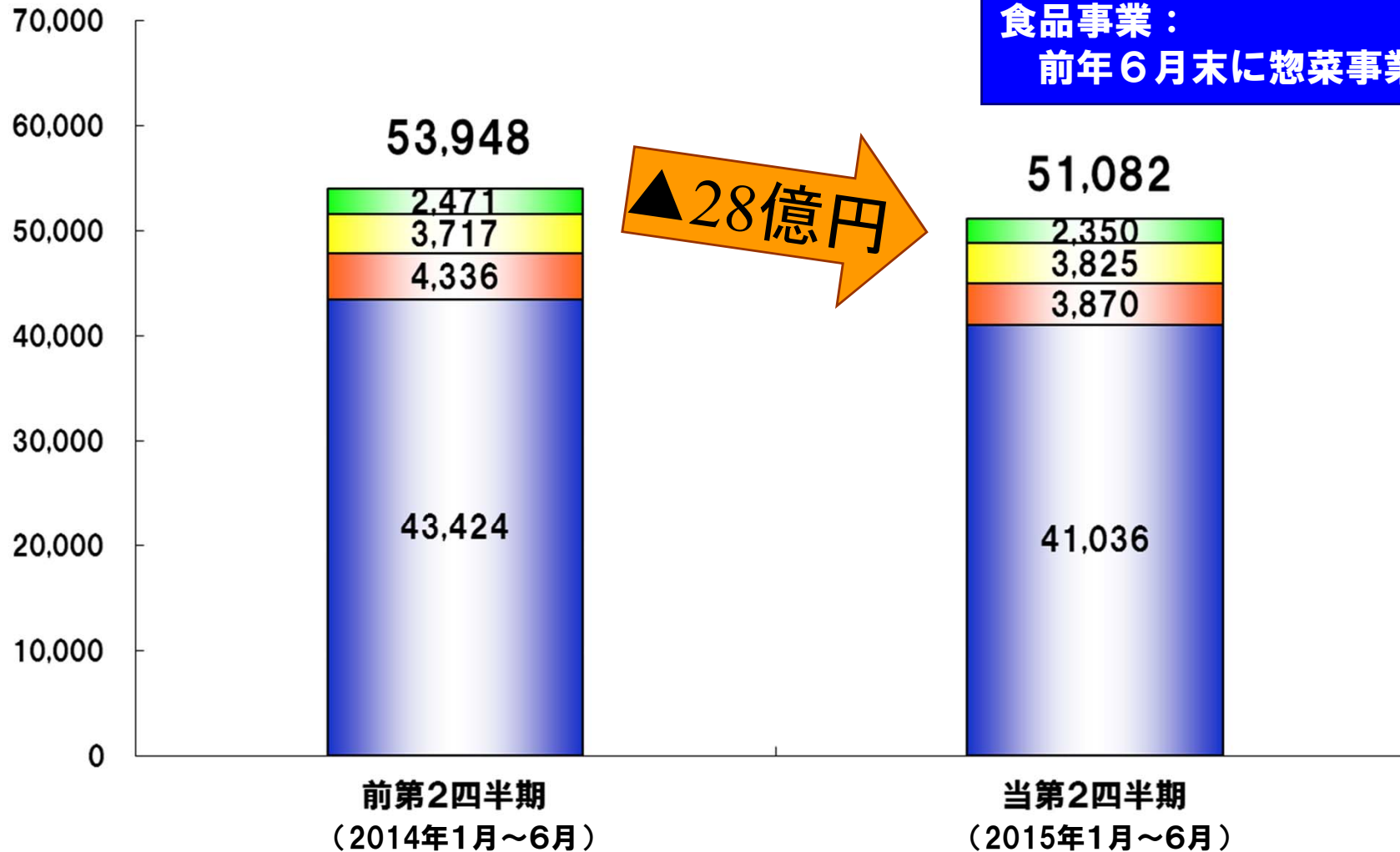


売上高（セグメント別）

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：百万円

□米穀事業 □食品事業 □飼料事業 □鶏卵事業



米穀事業：
販売単価の大幅な下落
食品事業：
前年6月末に惣菜事業撤退



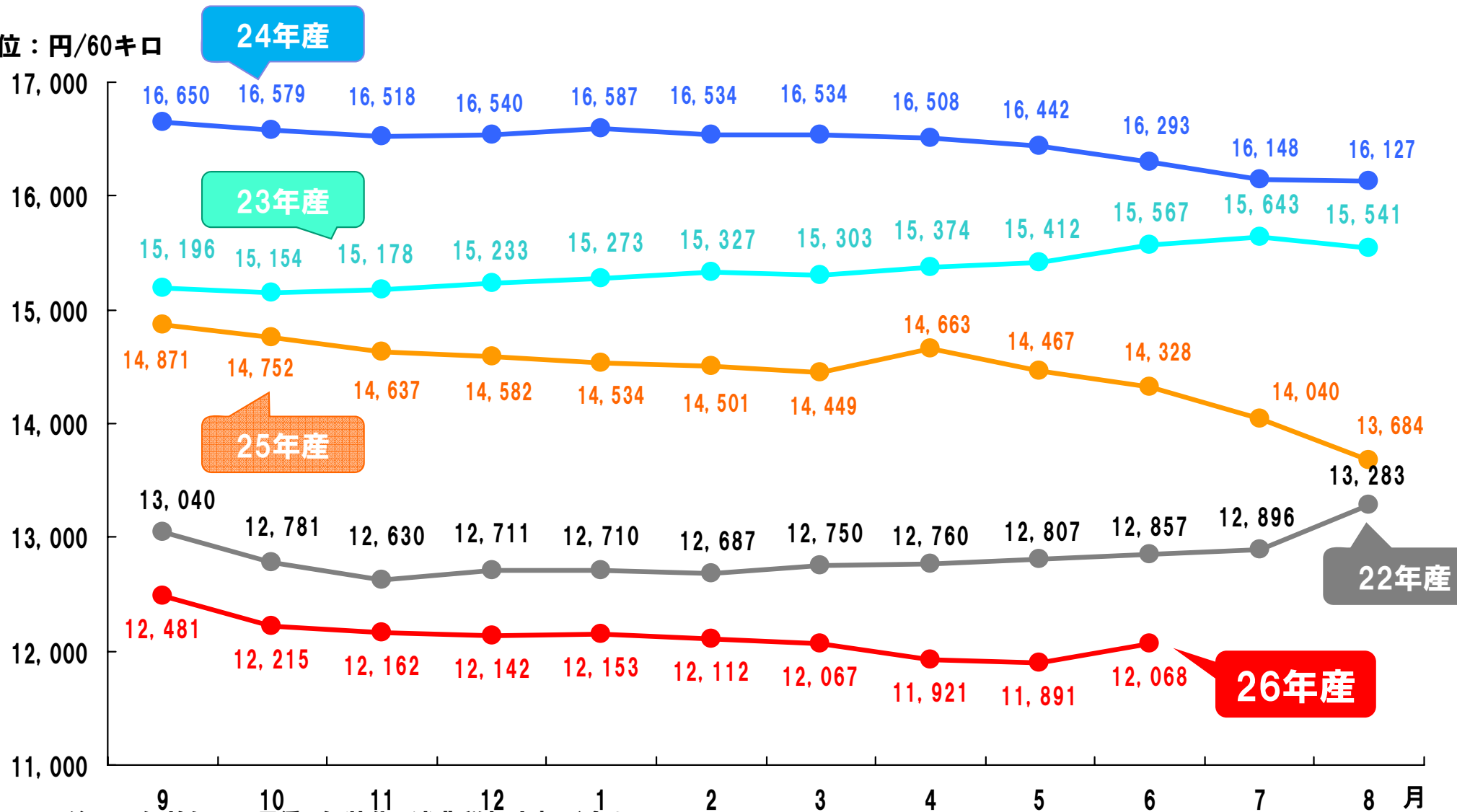
コメの相対取引価格の推移

お米と。あなたと。

木徳神糧

証券コード：2700

単位：円/60キロ



注：1. 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

2. 相対取引価格は全銘柄平均価格であり、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

3. 25年4月から消費税3%アップで8%となっている。

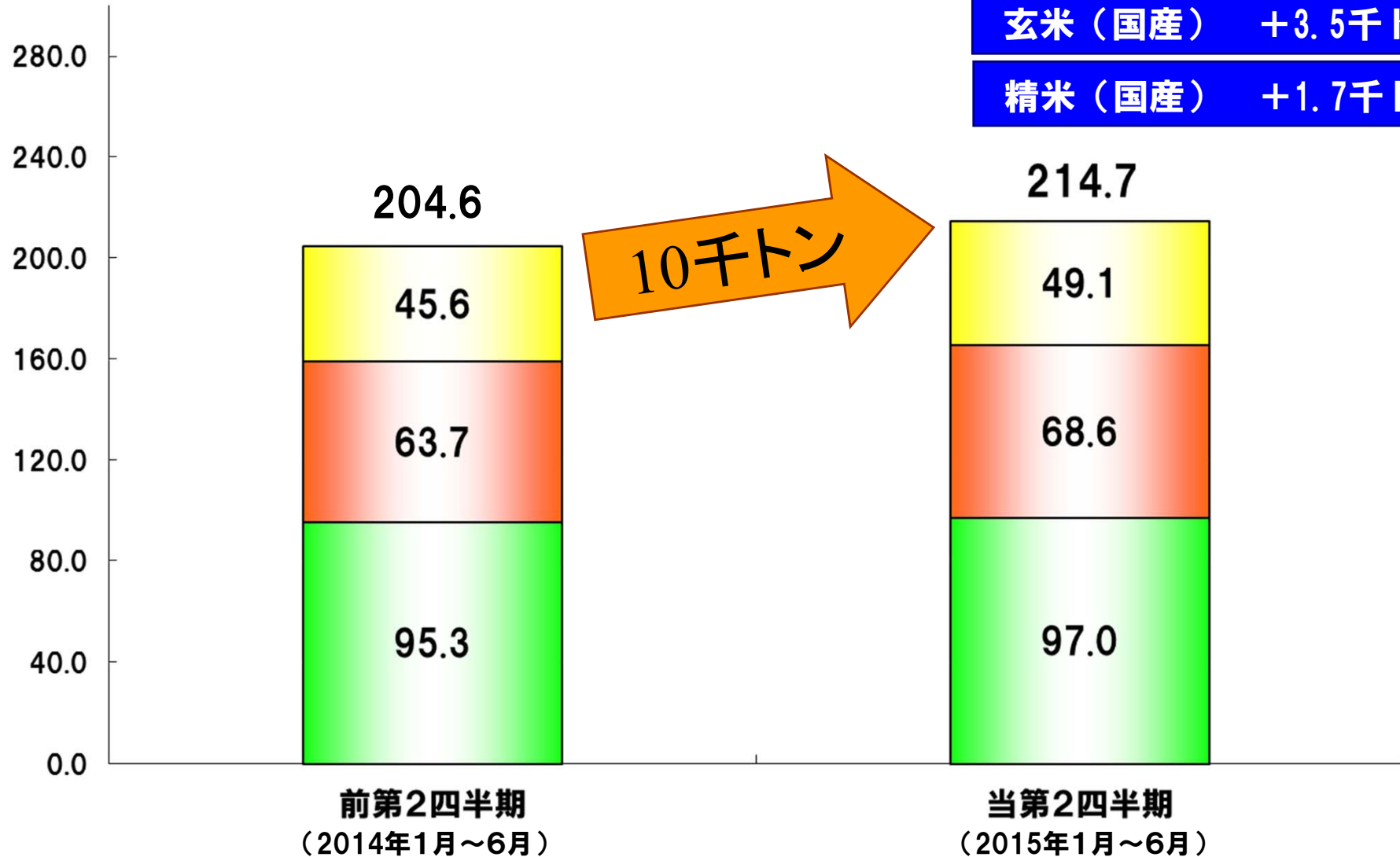


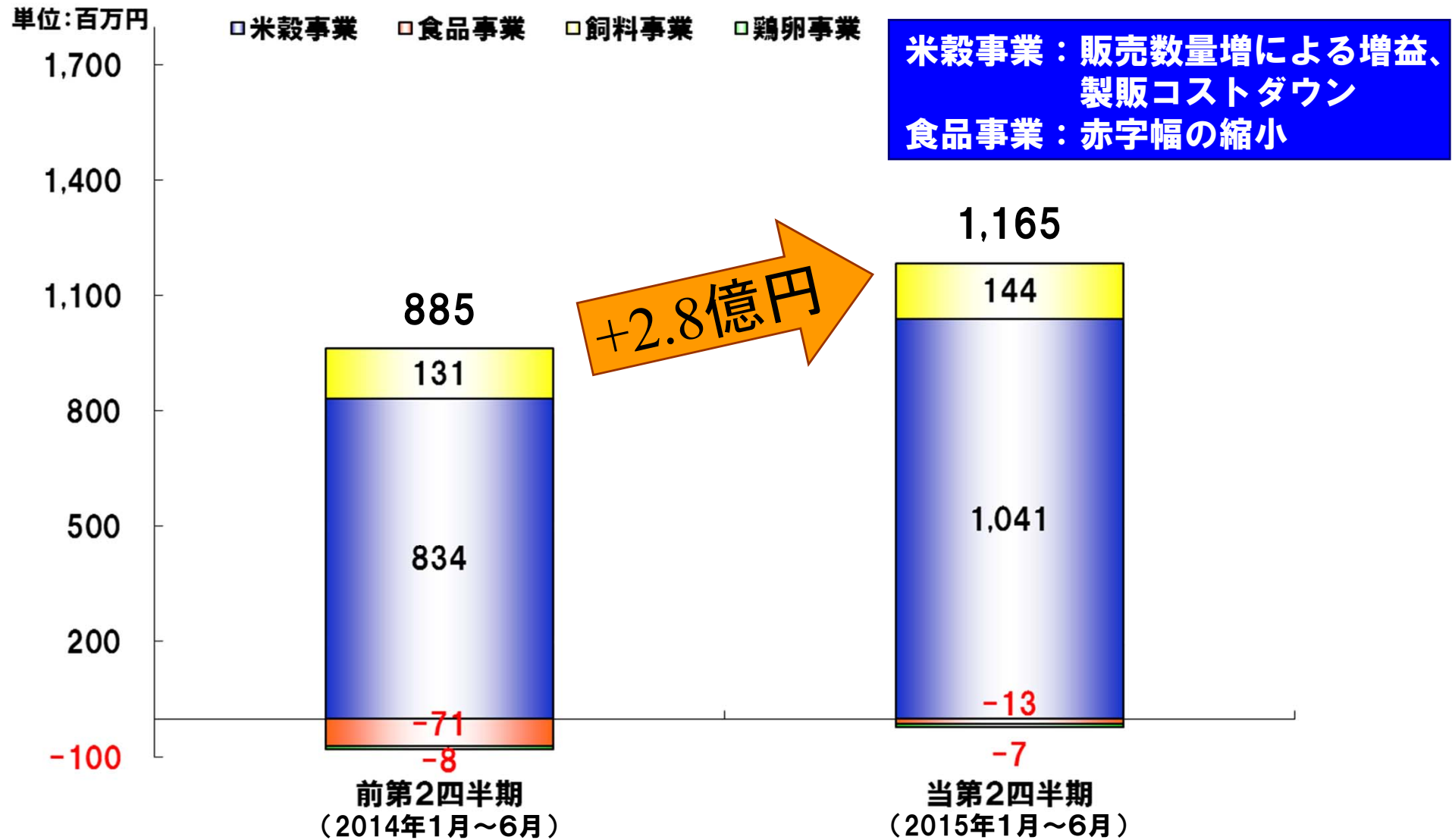
販売数量（米穀事業）

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

単位：千トン

□ 精米(国産) □ 精米(外国産) □ 玄米(国産)





注：1. 前期数値については前期開示数値から当期の比較情報として修正を行っている。
食品子会社が惣菜事業から撤退し、当期より鶏卵事業単一セグメントに変更したため、鶏卵事業の営業利益△42百万円。

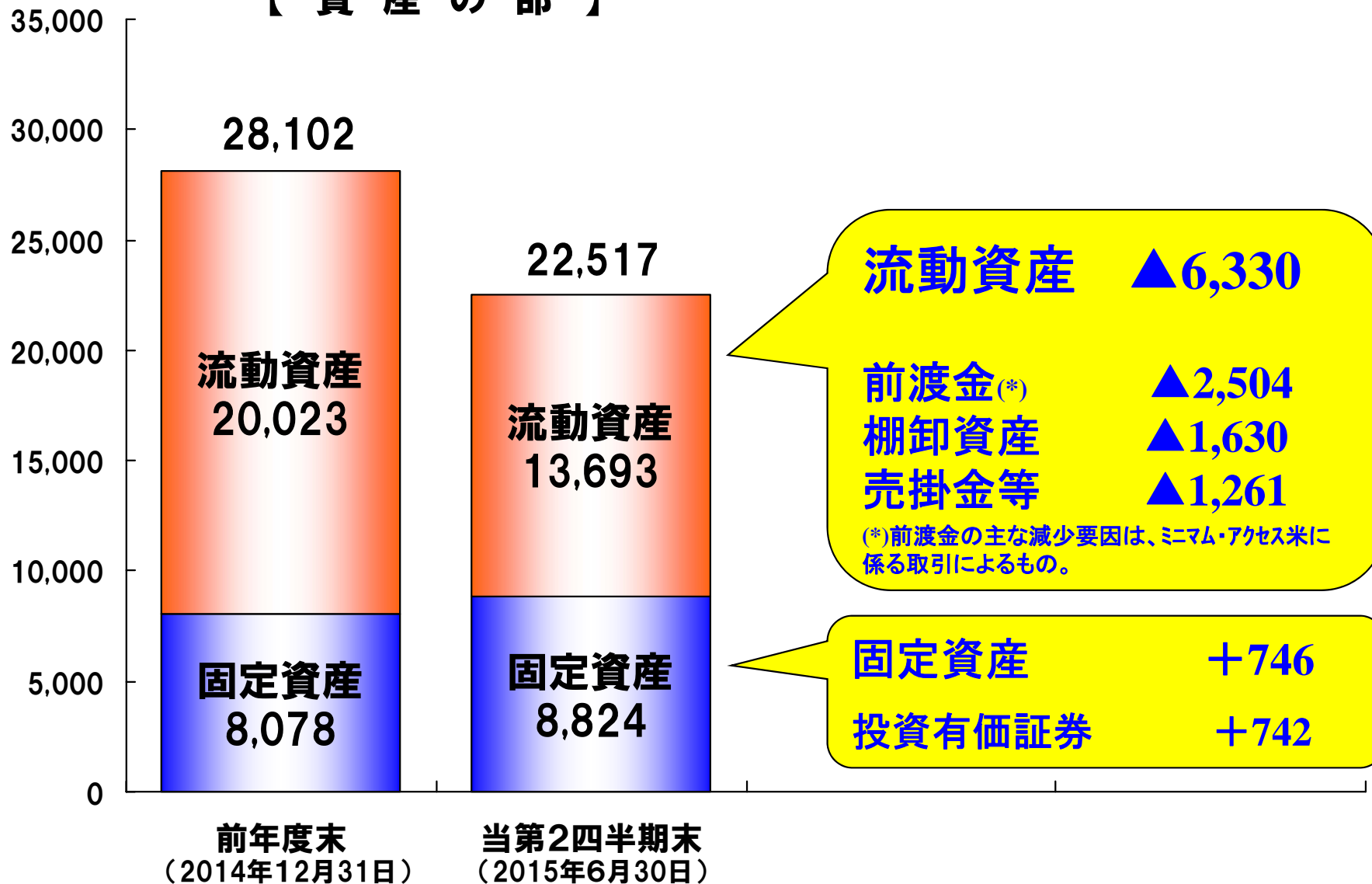


資産、負債及び純資産の状況（1）

木徳神糧株式会社
証券コード：2700

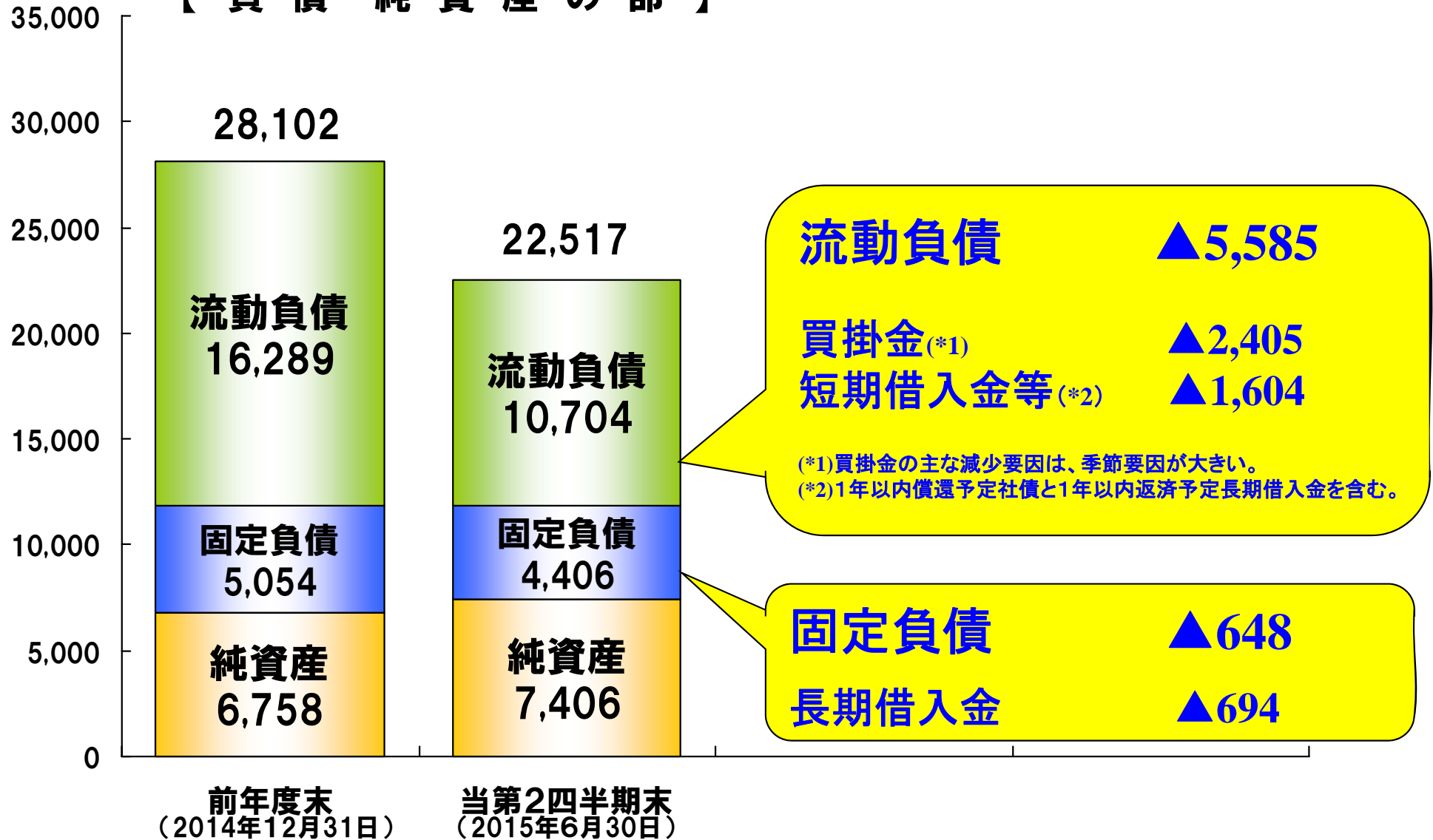
単位：百万円

【 資産 の 部 】



単位：百万円

【 負債・純資産の部 】





KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。

 **木徳神糧**

証券コード：2700

経営戦略



目次

- 1. 経営理念**
- 2. 中期3ヵ年経営計画進捗**
- 3. 2015年12月期経営戦略**



経営理念

コメビジネスを軸に世界中の消費者に日本米・日本食の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートします。

キーワード

変化へ迅速対応
存在意義の発揮



中期3ヵ年経営計画基本方針

お米と。あなたと。

木徳神糧
証券コード：2700

木徳神糧株式会社

米穀事業 (主力事業)

国内：生産者に近づく体制作り
(川中から川上まで)

海外：日本米 (海外産ジャポニカ米も)
市場の創造と開拓

海外法人

アンジメックス・キトク
キトク・アメリカ
キトク・タイランド
木徳 (大連) 貿易

台湾木徳生技
(たんぱく質調整米製販)

食品事業

■ 機能性食品の開発と海外展開
■ 鶏肉の付加価値加工品の進化

国内子会社
内外食品 (鶏飼育・鶏肉加工)

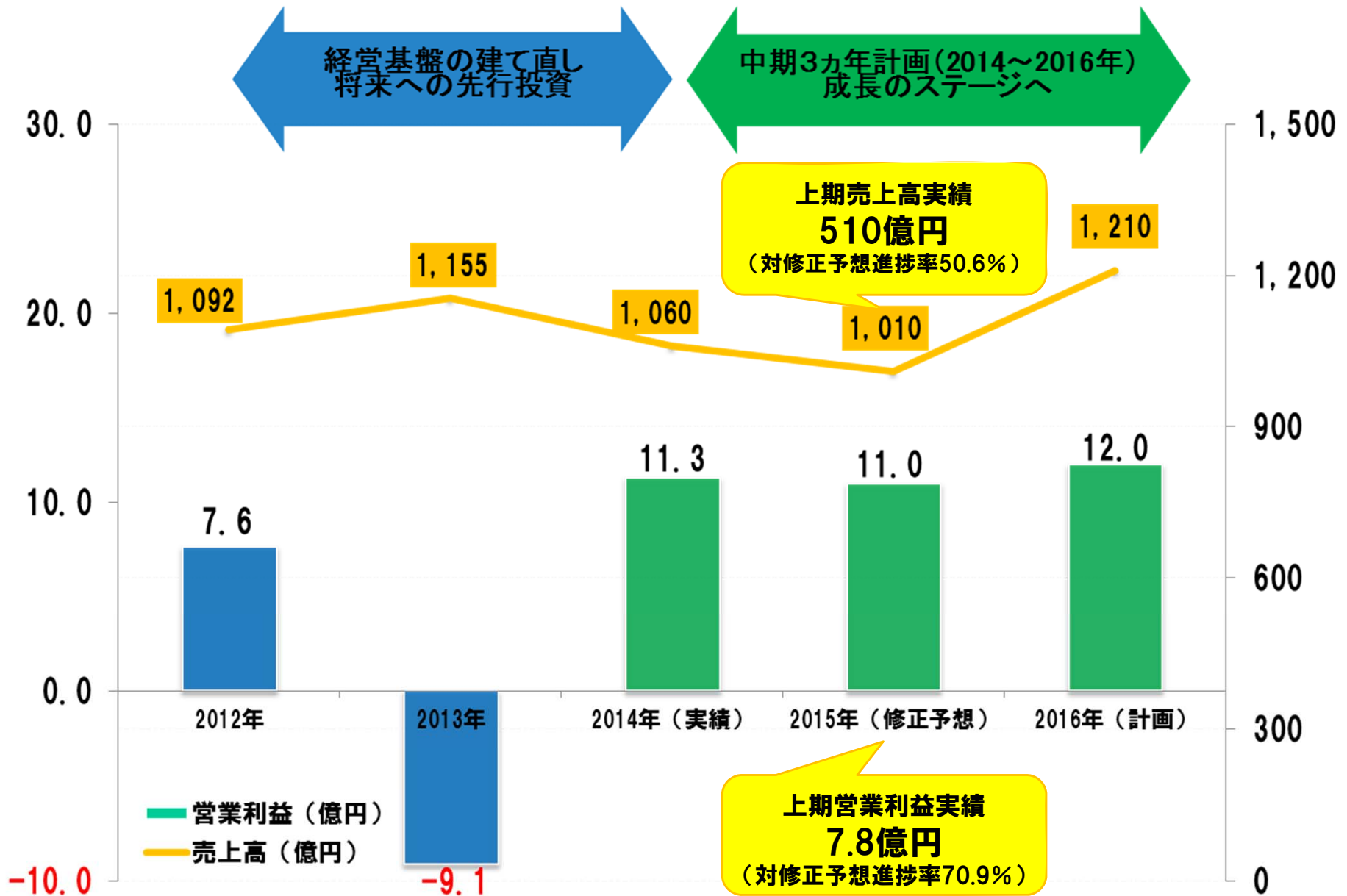
飼料事業

- 拡大と独自性の発揮
- 飼料用米販売の構築

鶏卵事業

- 安全・安心の確保
- 独自商品開発強化

国内子会社
東洋キトクフーズ (鶏卵)





◇生産地に近づく体制作り

■ 需要変化への積極対応

仕入手法の多様化で安定供給とコストダウンを実現

★複数年・収穫前等の事前契約と期別相対・個別取引を併用

仕入ルートが多様化による機動性の強化

★各経済連・県本部、各JA、生産法人等からの仕入を拡大

産地・生産者のニーズに応えられる仕入の推進

主食用、加工用、米粉用、輸出用、飼料用への供給力の強さを発揮

新品種開発への参画による付加価値を提供

★多収品種開発の東北コンソーシアムに参加

「ささ結」コンソーシアムに参加

★栃木県に「ゆうだい21」契約栽培拡大を本格化

- エリア戦略へのチャレンジ
単独農協との提携強化による生産体制を充実
提携工場の拡大、品質管理の高度化、モデル構築を加速

★九州エリアの需要拡大に迅速対応
JA食糧さがに20%出資（3月）、
新たな生産拠点を確保



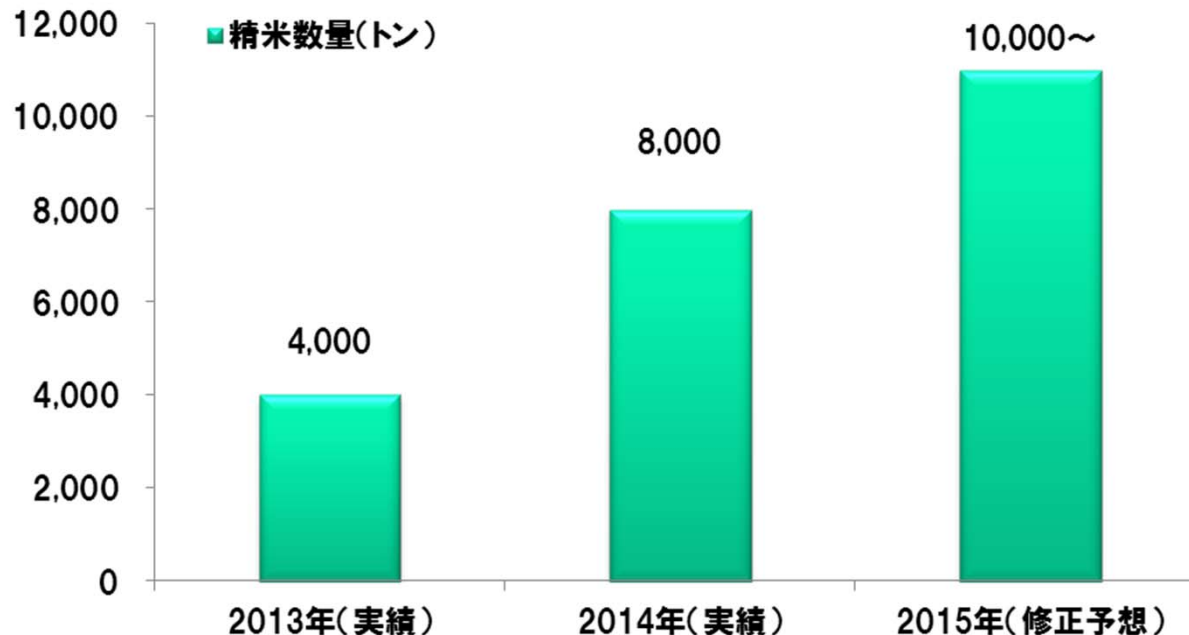
特色ある地域銘柄の地産地消を促進
広域卸機能の発揮、生産者にメリット、取引先に価値を提案



◇ベトナムを機軸にグローバル展開

■ ジャポニカ米の量的拡大

★ 日本式乾燥設備（能力230トン/日）をフル稼働、歩留りと品質の向上で精米数量1万トン超へ、東南アジア等への輸出拡大に追い風



日本式乾燥機



■ベトナム国内販売体制の整備

★最大商業都市ホーチミンに物流センターを新設、
ベトナム国内ジャポニカ米の販売を強化



ホーチミン物流センターの様子



■生産基盤の拡充

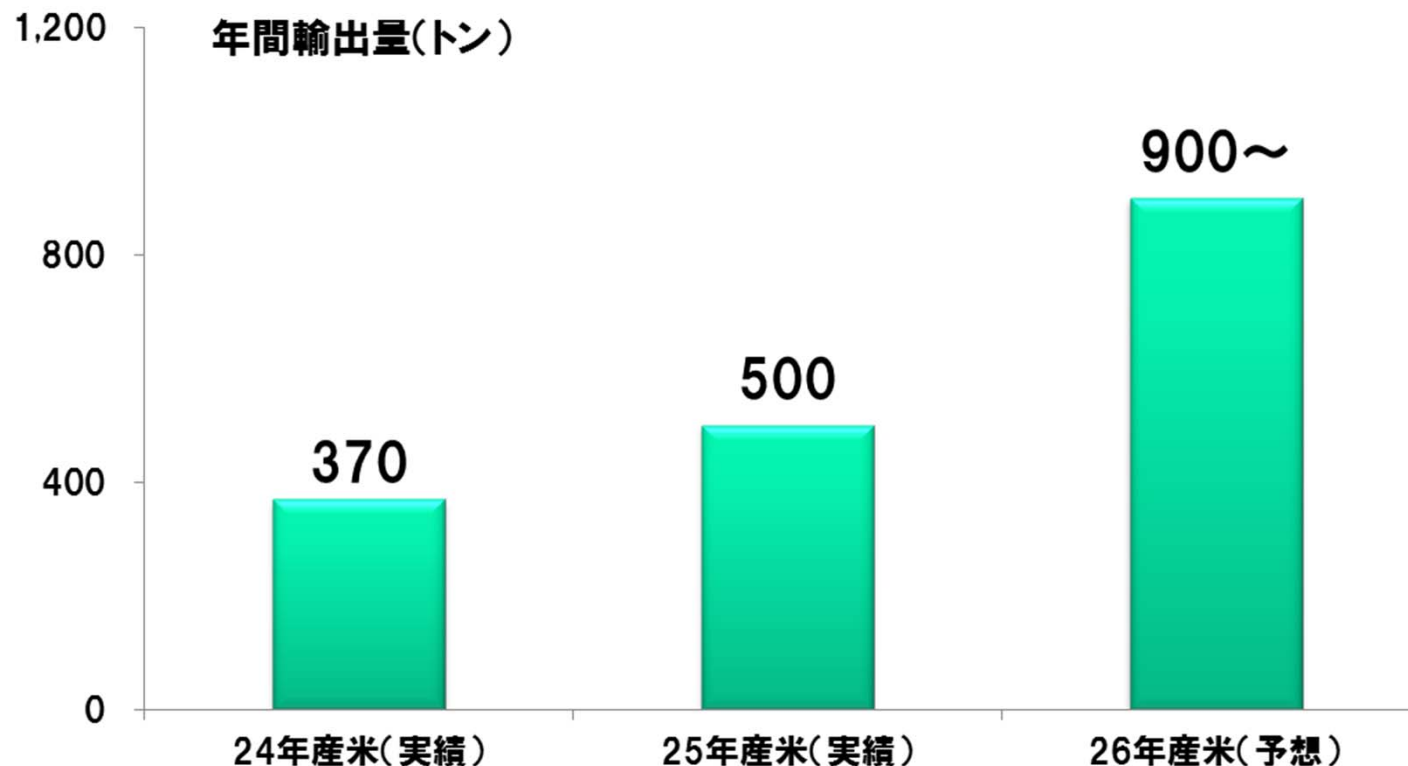
- ★高品質のジャポニカ米を求めるニーズの高まりに対応すべく、ベトナム北部（ハノイ）での「こしひかり」をはじめとする銘柄米の生産を来年からスタート





◇日本米輸出市場の開拓

- 安全・安心で高品質の国産米輸出の拡大に注力
販売先は東南アジア、太平洋地域、北米へ





◇たんぱく質調整米「真粒米」の拡充

■ 国内における取組

- ★消費者ニーズに対応する1キロ小容量商品を開発（3月）
- 真粒米シリーズ「純米もち」を開発（10月発売予定）



標準3キロタイプ



少量1キロタイプ



真粒米使用「純米もち」

■ 海外における展開

- ★ 台湾、中国、東南アジア向け「真粒米」を供給する台湾木徳生技（台湾グリーンバイオパーク・屏東県）の第1期工場を建設中（4月着工、年内竣工予定）



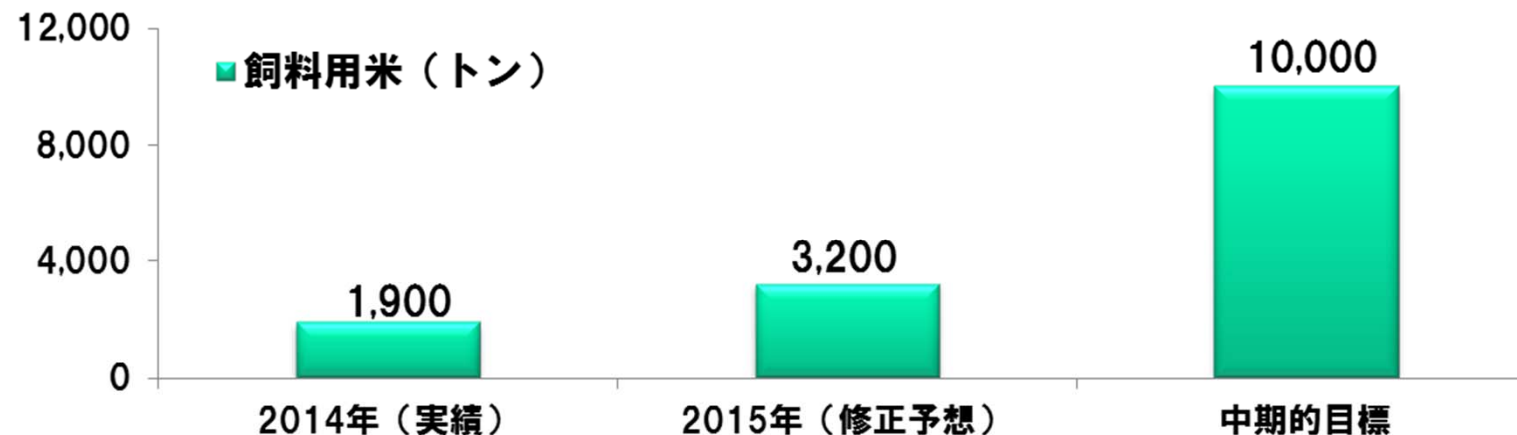
工場建設の様子(8月現在)

◇事業規模の拡大

- TPP後を見据えて国内の成長分野に注力
 生産拡大が見込まれる和牛向けに糟糠類や食品残渣物を活用
- 北海道、中京、関西、九州の各エリアを重視

◇飼料用米販売の拡大

- グループの仕入力を活用、販売数量を急拡大
 ★今期グループで3,200トンの販売を確保





◇鶏肉子会社の経営再建

■加工分野の強化

グループ会社との協業で商品開発と販売を促進
手作業の機械化で生産効率の向上を追求

■エリア戦略の展開

茨城における営業活動の強化で地産地消を促進
「つくば鶏」ブランドの浸透を強化

■製販費用の削減

本社機能の移転や営業体制の見直しを実施
飼育・加工と営業の連携で在庫や販売ロスを削減



本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本資料は、2015年8月11日現在のデータに基づき作成しております。

【お問い合わせ先】

木徳神糧株式会社 社長室

TEL：03-5636-1502 Email:ir@kitoku-shinryo.co.jp

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>